

みんなで創る みんなで支える



CCT 瓦版

2021年 1 月号

VOL : 171



お知らせ

1. 1月の会議日

23日(土) 運営委員会 10:00～学生ホール 広報部会 11:30～7110号室
 文化芸術部会 9:20～学生ホール スポーツ部会 9:20～7号館6階
 ふれあい部会 13:00～7号館6階

2. 1月の不定期講座

・哲学って何	6日	水	10:30～	7110号室
・和布刈を謡う会	8・22日	金	13:30～	住吉神社社務所
・クラシック音楽	23日	土	13:30～	2号館7階7号室
・太極拳(月)	18・25日	月	15:15～	さくらスタジオ
・太極拳(水)	13・20日	水	15:15～	さくらスタジオ
・ドイツ語イタリア語	7・14日	木	9:30～	7110号室

3. 冬休み 12月27日(日) から 1月5日(火) まで

12月の活動日、1月の開始日は各講座でご確認ください。

4. 2021年度役員を選出について

『みんなで創る、みんなで支える』クラブの要となる次年度の役員を選出して、
1月27日までに事務局へ提出して下さい。

5. 構内立ち入り禁止

*入学試験 1月9日 *大学入学共通テスト 1月15・16・17日
 *後期試験 1月28・29・30日

〈CCT事務局〉東亜大学 7号館 7109号室 13時～15時
 TEL : 083—250—5032 (留守番電話に)
 Email : cct2008@water.ocn.ne.jp
 ホームページの検索は『 CCT東亜 』

会員数
 637名
 11月30日現在

Happy New Year 2021



「みんなで創る・支える」を標語に16年

令和2年は新種のコロナウイルスが中国武漢で発生し、瞬く間に世界中に拡散し猛威を振るっています。山口県におきましても毎日のように罹患者が出ています。当クラブにおきましては、マスクの着用・手消毒・適度の間隔を保つなど、「3密」を避けながら9月末から本格的な活動を開始してきました。しかしながら一部の活動については、無料塾「旻」のように、中止を余儀なくされています。会員も100名強の方々方が退会されています。

地域社会との交流については、色々な地域祭が中止の状態の中で、勝山中学校との連携事業として勝山スポーツ教室の一環で硬式テニス教室が10月より新しく開始されています。また、金管バンドも中学生を含めた活動が開始されています。

地域社会の中で、総合型コミュニティクラブとして何が出来るのか模索しながら一つでも地域の為になる活動が出来ればと願っています。

緊急の課題は会員や講師の高齢化が顕著で、80代の会員が50名を越し増加傾向にあります。中には中止になる教室も出てきています。各部会でも高齢化が進み60代の皆様の積極的な参加が望まれています。今一度創立理念を思い起こし、会員の皆様が多くの分野で、自分の出来る範囲で、無理せずに会の運営に参加していただけることを期待しています。当クラブはトップアスリートやインストラクター養成クラブではありません、身体を動かす楽しさ、同好の者が集い活動する楽しさを体感する場です。友人知人を多く作り明日も「行きたい/やりたい」と思う場です。気楽に肩肘張らず在るがママです！

本年は「丑」年、どしりと腰を落とし悠然とコロナ禍を克服しましょう。

末筆になりましたが、平素からの皆様のご支援に感謝するとともに、

会員ご家族のご健勝とご多幸を祈念します。

令和3年1月
 コミュニティクラブ東亜
 会長 有賀俊一

日本百名城 熊本城 (銀杏城^{ぎんなん})

日本百名城の選定は日本城郭協会が財団法人となって 40 周年を記念する事業として、文部科学省・文化庁の後援を得て企画され、名城 100 城が発表されました。その後 10 年が経ち、50 周年の記念として 2017 年 3 月に『続日本 100 名城』を選定、現在に至っています。またスタンプラリーを設定したことで、私は元々城が好きな方なので、百名城を巡って見ようと思い現在も時間があれば、お城巡りをしています。今回は百名城でも震災で被害をうけた熊本城についてお話をしたいと思います。



熊本城には何度となく行き来したお城です。2013 年熊本城桜まつりの時の写真、夕暮れに立つ綺麗な城です熊本城別名銀杏城^{ぎんなんじょう}とも言われ慶長 6 年(1601)、室町時代に築かれた千葉城^{ちば}や隈本城^{くまもと}のあった茶臼山^{ちやうすやま}一帯に、加藤清正^{かとうきよまさ}が築城、慶長 12 年(1607)に完成した。最高所にある本丸には大天守^{おほてんしゆ}や小天守^{こてんしゆ}を建て、各曲輪^{くるわ}には宇土櫓^{うとやぐら}をはじめ、三重天守^{さんじゆうてんしゆ}に匹敵する五階櫓^{ごかいやぐら}を五基も建て並べた。加藤氏改易後は細川氏^{ほそかわ}が入り、明治維新を迎えた。明治 10 年(1877)の西南戦争^{せいなんせんそう}では城内に籠った新政府軍が攻めたが落城せず、城の強固さは証明されたが、本丸の大部分が焼失、しかしなお宇土櫓^{うとやぐら}はじめ 12 基の櫓^{やぐら}が現存、清正流^{せいしやうりゆう}と称される高石垣もほぼ完全な姿で震災まで残っていた。大天守と小天守は昭和 35 年(1960)に再建された。また西出丸の櫓^{うしでまる}や門^{やぐら}が復元され、平成 20 年、本丸御殿^{ほんまるごてん}の復元もされたが 2016 年(平成 28 年)4 月 14 日の震災で大きな被害がでた。地域内全体の復旧完了は 2037 年度内とのことです。ちなみに 4 月 6 日は城の日ですが、今年はコロナで出かけられませんでした。修復も進んでいますが、写真を撮ろうにもコロナで出かけられません。コロナが収まれば又訪れて観たいお城の一つだと思います。令和 3 年(2021 年)4 月に天守閣完全復旧と内部公開が開始されるようです。皆さんも一度訪れて観てはいかがでしょうか！ 広報部会 竹野勝規

本丸の修復

ようやく雄姿が見えた

熊本城のスタンプ

スタンプ帳

